

情報メディア学会 200704

武漢コロナウイルスのホモログマップ作成法 の紹介

天野晃

背景

2020年初頭、新型コロナウイルス感染拡大の際に、ウイルス感染の検査として、対象ウイルスのゲノムをPCR増幅し検出する、いわゆるPCR検査と呼ばれる検査が広く行われることとなった。

検査である以上、一定のFalse-positive、False-negativeが存在するが、False-positiveとなる要因のひとつであるコンタミネーションについては、PCRプライマー設計による回避が可能な場合がある。

このための参考情報として、コロナウイルスゲノムと既存のゲノムの相同性を視覚的なマップとしてまとめることを思いついた。

目的:

- コロナウイルスホモログマップ紹介
- コロナウイルスホモログマップ作成法の紹介
- 詳しくはポスターで

方法:

- NCBI blast
- 描画ツール
- 詳しくはポスターで

結果:

- 詳しくはポスターで